



海の環境保全について学ぶ

■1月25日、桜山小学校で海洋環境保全教室がありました。同校4年生の児童は、第10管区海上保安本部職員から海で泳ぐときのルールや海の汚染についてなどを学びました。



第29回表現・ダンス発表会

■2月3日、市民会館で開催されました。市内の小・中学校、高校から9組が出演し、それぞれが体をいっぱいに使った生き生きとした発表を見せました。



勉学の道歩こう会

■1月21日に開催され、57名が参加しました。参加者は、桜山小学校出身で玉川学園創設者の小原國芳先生が通学した久志から桜山小学校までの道約12kmを歩きました。



外国人観光客のもてなし方を学ぶ

■2月8日、市観光協会が南薩地域インバウンド研修会を地場センターで開催しました。参加した観光関係者たち約60名は、外国人対応の際の心構えや基礎知識などを学びました。



妙見の森を桜の名所に

～妙見の森にサクラを植樹

妙見の森をサクラの名所にしようと、1月21日、地元住民ら約110名が集まり、ソメイヨシノなど約100本を植樹しました。

かつての妙見の森には桜が植えられていましたが、台風で折れたり、雑木に囲まれて樹勢が弱ったりしていました。「桜山なのにサクラの名所がない」との声が多く聞かれたことから、地域の有志で「妙見の森に親しむ会」を設立し、鹿児島市のNPO法人森と木の研究所と連携を図りながら、整備を進めてきました。

参加者は成長を願いながら、次々と木を植えていきました。同会の中園卓郎会長は「桜山校区のサクラの名所にすることが夢です」と話していました。



枕崎中学校にラインマーカーを贈呈

～投稿者：平成14年枕崎中学校卒30歳会

投稿

平成14年枕崎中学校卒30歳会の代表4名が、1月13日に母校の枕崎中学校を訪れ、寄贈品のラインマーカーを中馬俊宏校長に贈呈しました。

寄贈品の贈呈は、1月2日にグリーンホテル福住で開催され、約70名が参加した同窓会の中で、お世話になった学校に役立ててもらおうと、会費の一部から寄贈品を用意し贈呈することが決まりました。

今回の寄贈品を子どもたちのために活用していただければとても嬉しいです。

川辺チーム健闘の3位

～第64回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第64回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月18日から5日間の日程で開催され、川辺チームは総合3位と健闘しました。初日の18日は本市を通過。第8中継所の枕崎市役所では、立神中出身の田畑庸佑選手にタスキが渡ると大歓声上がり、田畑選手は声援に後押しされて区間新記録の力走をみせました。

また、会場では恒例となった「まくらざきハーモニーネットワーク委員会」による茶節や腹皮のから揚げの振舞いも大盛況でした。



プロの味を学ぶ

～木浦信敏さんと桜山小学校児童の交流授業

2月16日、本市出身で日本料理の老舗「なだ万」の代表取締役社長である木浦信敏さんと木浦さんの母校である桜山小学校6年の児童との交流授業が、同校で行われました。

授業では、カツオの白子入りの茶碗蒸しを作りました。児童は、木浦さんの鮮やかな手つきに驚きを見せながら作り方を学び、昆布と鰹節の出汁が効いたおいしい茶碗蒸しを完成させました。授業の最後に木浦さんは「食べものや作ってくれた人への感謝の気持ちを忘れないでほしい」と児童にメッセージを送りました。

筆原陽翔くんは「木浦さんに教えてもらってうれしかったです。いつも食べている茶碗蒸しよりもおいしかったので家でも作りたいです」と話してくれました。



ほっとホット
フォトニクス



将来の進路のために

～枕中未来塾(進路講演会)

1月27日、枕崎中学校で進路講演会が開催されました。この講演会は、市内に在住する鯉節職人や保育士、建設業などさまざまな職業の人たちを講師に招き、生徒に将来のことについて考えてもらおうと平成26年度から実施されています。生徒たちは興味のある講演を2つ選択して聞き、今後の進路への参考にしていました。

板敷美有さん(2年)は「努力して夢を叶えることができるんだなと感じました」と話していました。



100歳おめでとうございます

～豊留イトさん(豊留町)

豊留イトさんが2月7日、めでたく100歳の誕生日を迎え、同日、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

豊留さんは、造園の仕事をして70歳までして、その後は、自家農園で野菜を育てながらの生活を95歳まで続けていたそうです。

長寿の秘訣は「体をよく動かすこととおいしいものを食べること」と話します。

これからも元気で長生きしてください。